

## 公明党 池上 茂樹 議員



- 1 危機管理体制について
- 2 期日前投票及び不在者投票について
- 3 通学路の危険箇所について

**質問1** 自助意識の向上のため、本人の医療情報や緊急時の連絡先等を記入携帯でき、事故や病気時でも役立つ「命のパスポート」を市民に配布しては。

**答弁1** 広報すずかの防災特集の掲載時に「命のパスポート」を載せるスペースを検討する。

**質問2(1)** 期日前投票の簡素化のため、入場整理券裏面に宣誓書を印刷し、自宅記入を可能としては。

**答弁2(1)** 次回選挙を視野に入れ、入場整理券の裏面に宣誓書様式を印刷し送付することを検討する。

**質問2(2)** 現在の期日前投票所は市役所の12階で、

高齢者や障がいを持たれた方に対し配慮に欠けている。市役所1階等に移動できないか。

**答弁2(2)** 1階への変更を関係各課と検討していく。

**質問2(3)** 期日前投票所をイオンモール鈴鹿や白子地区市民センター等、複数箇所を考えられないか。

**答弁2(3)** 複数箇所での投票について、管理運営にかかる課題、地域との協議など慎重に検討していく。

**質問3** コミュニティ・スクールの取り組みの中で、通学路の危険箇所について把握し、改善改修することができないか。

**答弁3** 通学路の安全対策についてもコミュニティ・スクールのテーマに掲げ学校と地域がより連携した形で安全対策に努める。

## あくていぶ21 伊藤 健司 議員



- 1 市民参加・広聴活動について
- 2 モータースポーツ都市宣言について

**質問1** 市長は市民との対話をどのように考えているのか。また広聴の一環としての「意見箱」をどう整備・改良し、活用していくのか。

**答弁1** 市民との対話から生まれる理解と信頼は行政の要であり、これから10年20年と鈴鹿市を担っていくことになる世代の方々との直接対話や意見交換をする。本年度は各地区でまちづくり等を考えているグループと各分野でまちの活力づくりを推進しているグループを対象にまちづくりミーティングを開催していく。意見箱についてはホームページを見直し、全ての手法をわかり

やすく明記し多様な手法があることを掲載するように改良を検討。市民からの意見と回答については、掲載内容を見直し、より詳しく公表するように検討し改善していく。

**質問2** モータースポーツ活動にモトクロスという新たな風を活用できないものか。本市出身の小島庸平プロライダーを本市のシティセールスと連携・協働して本市に貢献していただけないか。

**答弁2** モトクロスの活用については、今後、鈴鹿モータースポーツ友の会や鈴鹿商工会議所等の関係団体と協議し理解促進に努めていきたいと考えている。シティセールス特命大使の拡充については、モータースポーツ分野の新たな大使の委嘱についても、今後考えていく。

## すずか倶楽部 中西 大輔 議員



- 1 公共交通について
- 2 災害への基金積み立てについて
- 3 まちづくり基本条例について

**質問1(1)** モビリティマネジメントについて、効率的都市の形成とのつながりは。高齢者や障がい者を、対象として改めて取り入れるのか。

**答弁1(1)** つながりはあると考えている。都市計画にも及ぶ全市的な課題と認識、関係部局と連携をとりながら公共交通政策に取り組む。12月の公共交通会議で、高齢者と障がい者の件について検討したい。

**質問1(2)** EVタクシーを導入支援してはどうか。

**答弁1(2)** 課題があるため、十分に検討する必要がある

あると考えている。

**質問2** 大規模災害に備え、特定目的基金の設置を検討してはどうか。

**答弁2** 財政調整基金で対応することを考えている。

**質問3** 鈴鹿市まちづくり条例について、進捗状況と今後の予定はどうなっているか？

**答弁3** 「みんなでつくる鈴鹿まちづくり条例を考える会」からの提言書を基に作成した素案について、庁内で検討を加えた骨格案を平成23年3月の全員協議会で報告した。5月以降は、末松市長のもと新たな検討を加えながら庁内策定委員会で策定作業に取り組んでいる。今後、早期に修正を加えた条例原案を確定するよう努め、確定後には速やかに市議会へ協議させていただきたい。